

自彊前進

題字 西村直子

NO. 9 令和4年5月13日(金)
新潟大学附属新潟中学校 学校だより
文責 教頭
※ 自彊前進…自ら努め励み、前に進むこと
(校歌3番の文言から)

飛翔祭 First Half : 第49回ときわ体育祭終わる

第49回ときわ体育祭のスローガンは、First Impact。文字通り、1年間で最初の行事であるときわ体育祭で、大きな衝撃を残せたのではないのでしょうか。

そのスローガンとともに、「スポーツパーソンシップ」という言葉もよく聞こえてきました。私はこの「~ship」という単語が好きです。他にも、leadership や friendship、relationship といった言葉が有名ですね。「関係」や「姿勢」という意味を付け加える接尾辞のようです。First Impactを支える3つのキーワードの1つである「きょうどう」にその想いが込められていますね。

この「~ship」というが言葉から、「船」をイメージします。1つの船にはいろんな人が乗っていますが、共通の目的地を目指しています。しかもこの単語は単数形で用いられることが多いです。唯一無二の「船」というイメージがあります。

ときわ体育祭、すなやま完歩大会、演劇発表会、音楽のつどいという4大行事の中で、ときわ体育祭だけ勝敗が付きます。どの連合も応援優勝、競技優勝を目指して活動してきました。しかしながら、連合は違っても、共通の目標である、「First Impact~きょうどう、全力、創造」に向けて一生懸命努力してきたはずです。他連合は決して「敵」ではなく、目標を共有した同じ船の「乗組員」ということになります。このことを踏まえ、ねらいにどれだけ迫れたかについて、これまでの個人、学級、学年、学校の取組をしっかりと振り返りましょう。

飛翔祭はまだまだ続きます。今後は、すなやま完歩大会に向けての活動が本格化します。ときわ体育祭で培った friendship や relationship を生かし、互いに認め合い、高め合える関係づくりをしていきましょう！

